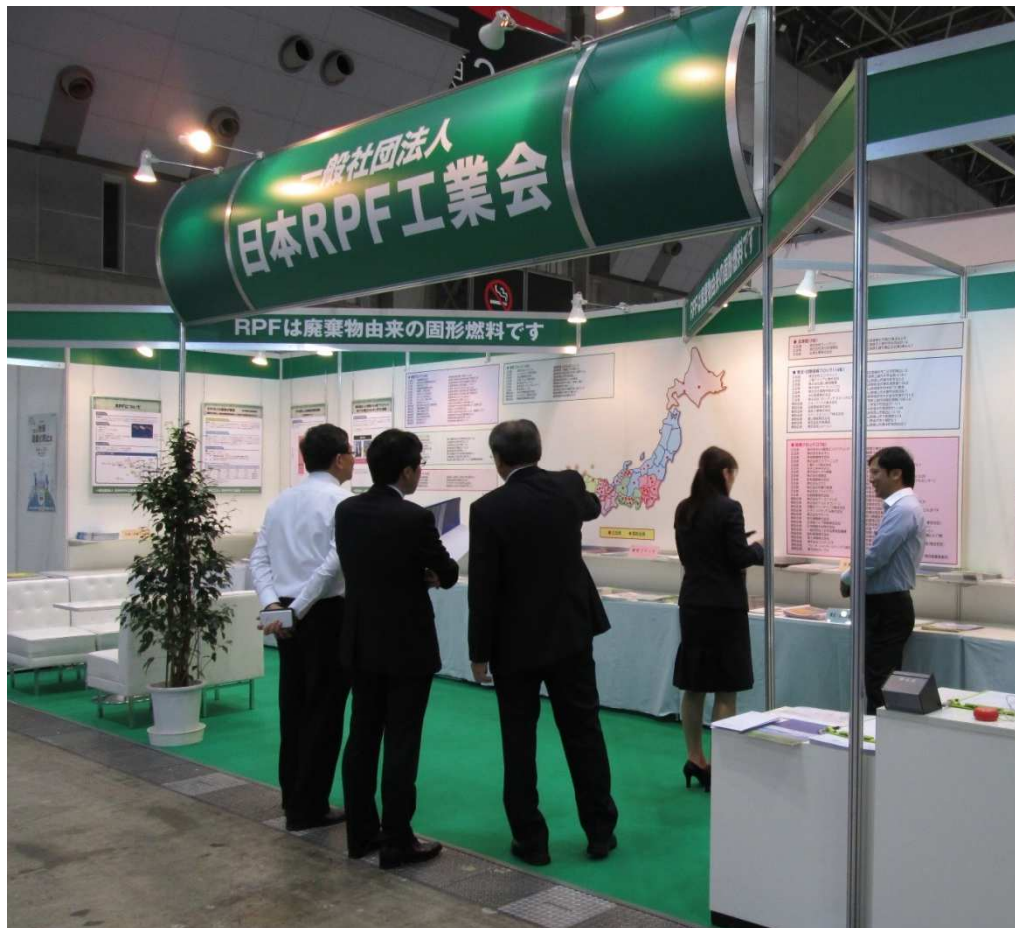


2015NEW環境展へ出展しました



日本RPF工業会は2015年5月26日から東京ビッグサイトにて開催された「2015NEW環境展」に出展しました。前回2014年の出展では主催者の要請による協賛出展のため、1小間の狭小ブースでの出展でしたが、今回は隔年出展計画により2年ぶりの3小間での大規模出展となりました。当ブースの設営、説明などの運営には、理事会社より期間中に延べ17名のご協力をいただき、事務局2名を加えた19名であたりました。

2015NEW環境展では展示会主催者発表で累計167,540名で当会のブースへの来場者は4日間累計で300名強に達しました。前回出展した2013年に比べ、今回は来場されたお客様の質問の「質」が変わってきたように思います。たとえば、2013年出展時には、「RPFとは何ですか」というような質問を多く受けましたが、今回は「JIS取得のRPFと未取得のRPFでの違いはあるか」「排出事業者であるが、我が地域のRPFは正当な価格なのか」等、より具体的な質問が多かったようです。RPFの知名度も向上し、廃棄物リカバリーエネルギーとしての認知度も向上してきたように思えました。

また、「入会を検討しているので詳しく教えてほしい」というお引き合いも数件あり、環境展出展に対する効果はあったと思います。

当会の環境展出展は隔年の出展となっており、次回出展は2017年の予定です。

次回の出展の際も、会員の皆さまのご協力のもと、より一層のRPFの周知活動に努めてまいります。

第3回定時社員総会が開催されました



日本RPF工業会第3回定時社員総会が平成27年6月12日16:05より東京都港区元赤坂の明治記念館で開催されました。

当日は総会に先立ち京都大学環境科学センター助教 浅利美鈴先生の講演「世界の多様なごみ問題・リサイクル事情」のご講演（15:00～16:00）が行われました。

【写真】浅利美鈴先生の講演

定時社員総会総会には110名（会員100名/報道10名）の皆様にご出席いただきました。また定時社員総会後の懇親会には125名（会員90名/報道11名/来賓24名）の皆様にご出席いただきました。

懇親会においては、宮沢洋一経済産業大臣、稲田朋美自民党政調会長、そして、当会の顧問を務められる山本拓衆議院議員のご出席、ご挨拶、日本製紙連合会羽山理事長の乾杯のご発声を賜り、懇談の場は盛会のうちにRPF工業会の更なる発展を期した海田副会長の三本締め中締めを迎えることができました。



【写真】加藤会長（総会にて）

【総会発言要旨】

加藤会長：工業会が第3回の総会を迎えられたのも会員の皆様のお力添えの賜物と深く感謝いたします。工業会是对内的には各会員の皆様が技術・品質・安全の向上を実現できるように技術品質委員会、安全衛生委員会、勉強会、工場見学会などを通してお手伝いをしてきました。対外的には製品の利用拡大に向け日本製紙連合会などのユーザーとの意見交換会を開催した

り、材料確保に向け政府関係省庁へのアプローチをしてきました。また、新聞広告などを通してRPFの認知度と固形燃料としての地位の向上に努めてきました。工業会発足後3年が過ぎ、活動方針が定着してきたと考えます。

長田副会長：RPF製造会社は固形燃料製造というモノづくりの面を持つが、廃棄物処理業者という面も持ちます。品質・技術・安全の向上を目指すのみならず、事業の原点に帰って廃棄物処理業者としてコンプライアンスを遵守していただきたいと思います。

石谷事務局長：容り法に基づくプラスチック製品容器包装再商品化に、これまではサーマル手法としてのRPFは入札することを認められなかったが、来年度よりケミカル手法として入札できることを環境省、経済産業省が承認し、容り協会も入札に参加させることを了解しました。7月10日の容り協会の入札説明会ではこのことが正式に発表されます。また、RPFを製鉄工程でのフォーミング材として、また、コークスに代わるカーボン材としてケミカル利用されることを産総研が実証実験することに環境省は今年度の予算を配分しました。

第3回定時社員総会後の懇親会でのご来賓あいさつより



【懇親会 ご来賓発言要旨】

宮沢洋一経済産業大臣：経済産業大臣に就任して以来仕事の半分はエネルギー関連である。今年末のCOP21では、日本は2030年のCO2削減目標として2013年比26%削減を宣言することとなった。RPFをもっと電気に使う事はCO2削減の手段として有望だ。RPF業界を静脈産業の中の大事な業界としてしっかり応援していきたい。

【写真】宮沢洋一経済産業大臣



【写真】稲田朋美自民党政調会長

【懇親会 ご来賓発言要旨】

稲田朋美自民党政調会長：廃プラ、古紙、木くずなどを利用してエネルギーとするRPF業界の取り組みを、皆さん（工業会）の意見を聞きながら応援していく。



【写真】山本拓衆議院議員

山本拓衆議院議員（当会顧問）：RPFを（容リ法に基づく再商品化における）ケミカルリサイクルの位置づけとして（入札参加できることを）環境省で実現していく。また、RPFをCOP21実現の一助としてもらいたい。（懇親会に）出席している資源エネルギー庁新エネルギー一部木村部長には（RPF推進を）協力してもらいたい。

羽山日本製紙連合会理事長：製紙業界はエネルギー多消費型産業で、電気代の値上がり、輸入資材の円安による値上がりには苦慮している。製紙業界では10年前の5倍に当たる84万トンのRPFを2013年度は利用した。RPF業界には適正価格での安定供給にご協力いただきたい。



【写真】羽山日本製紙連合会理事長の乾杯の様子

第3回工場見学会及び勉強会開催のお知らせ

技術品質委員会及び安全衛生委員会合同の工場見学会を下記の通り開催致します。(株) 苫小牧清掃社様のご協力とご尽力により、同社の工場見学会に加え 世界の製造業をけん引するトヨタ自動車北海道(株)、王子製紙(株) 苫小牧工場の工場見学も実施いたします。必ずや、皆様の会社の運営に役立つことと存じます。また、ご希望の方には初秋の北海道を楽しんでいただきたくゴルフ企画も用意いたしました。後日、当会より申込書をご案内いたします。多くの皆様のご参加をお待ち致します。

日程 平成27年9月8日(火)～9月10日(木)

集合 14:30 千歳空港

見学事業所：北海道苫小牧市

(株) 苫小牧清掃社、トヨタ自動車北海道(株)、王子製紙(株)
苫小牧工場

右欄の日程をご参照ください

9月 8日(火)「1日目」

14:30千歳空港 集合 バス乗込

15:30～17:00トヨタ自動車北海道

視察17:30グランドホテルニュー王子

チェックイン18:30～懇親夕食会 活魚

料理 北海

9月 9日(水)「2日目」

8:00～ 9:40勉強会(グランドホテルニュー王子内)

プレゼン企業/㈱リョーシン、新日本溶業㈱

10:00～11:30王子製紙苫小牧工場

視察

11:30～13:00昼食

13:30～15:00苫小牧清掃社視察1

6:00新千歳空港(バスにて送迎)ゴルフ

をされる方はホテルに送迎

9月10日(木)「3日目」

9:17～14:00 北海道ゴルフ倶楽

部イーグルコース(苫小牧)

14:00～15:30昼食

16:30 新千歳空港

【編集後記】紙之新聞「RPF工業会を創った功労者」に思う

第3回日本 RPF 工業会 総会懇親会にご出席されていた紙之新聞社の杉山寿朗社長より同紙コラム「紙点」(2012.9.8 号)に掲載された文章をご紹介いただきました。そのコラムは「RPF 工業会を作った功労者」と題され、日本加工紙元社長 故遠藤健一郎氏と日本 RPF 工業会名誉会長 関勝四郎氏の名前が挙げられていました。当工業会が設立される10年以上前から遠藤氏は関氏を主要製紙工場に案内し、確実な販路としての製紙工場への納入の道を開いたと紹介しています。

関氏は新燃料 RPF の優位性、社会への貢献を信じながらも、使用してくれるユーザーが無ければ産業として成り立たないことを十分に認識していました。両氏は新しい産業として注目されるであろう業界の将来を信じ、ユーザーのご理解を得るために全国を行脚し、ユーザーの声に耳を傾け製品の改良に取り組みました。第3回日本 RPF 工業会総会・懇親会は盛会のうちに終了し、会報を作成するに当たり、ふと、この新聞コラムが思い出されました。